

マチニワ市で中心街を活性化！

八戸商業高等学校 2年 2組 2班

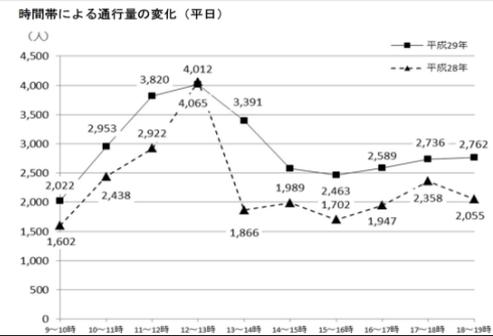
●マチニワとは

八戸市中心街に2018年にオープンした光・緑・水などの自然を感じられる透明感溢れる空間です。このマチニワを利用して中心街を盛り上げるために考えたのがマチニワ市だ。

画像提供：八戸市（八戸ポータルミュージアム）



●マチニワを利用してやりたいこと



実際の八戸市中心商店街の通行量を調べた結果、このグラフから平日、休日どちらも昼の時間帯に通行量が多いことが分かる。そこで、中心街で昼にマチニワ市を開催することで八戸中心街を活性化させることができるのではないかと考えた。朝市といえば八戸市では館鼻岸壁朝市であり、毎週日曜日に2～3万人の集客を生む成功例だが主に以下のような問題点を抱えている。

出典：八戸市中心市街地活性化協議会

「平成29年度 八戸中心商店街通行量調査結果」

マチニワ市のメリット

- 1、マチニワ付近にはバス停が多く高齢者がバスを利用しやすい
- 2、屋根のあるマチニワで行うことにより天候に左右されない。
- 3、施設内にある大型モニターを使って八戸のPR動画を流し市民や観光客に八戸の魅力を知ってもらえる。
- 4、来場客はマチニワ市だけでなく、中心街各店舗に回遊する需要も創出できる。

館鼻岸壁朝市問題点

- ・360店が出店しているが、現在80店が待機中
- ・行政から後ろ指を指されないようにするため、撤収も終了予定の午前9:00から10分以内に見事にもとの岸壁広場に戻さなければならない。

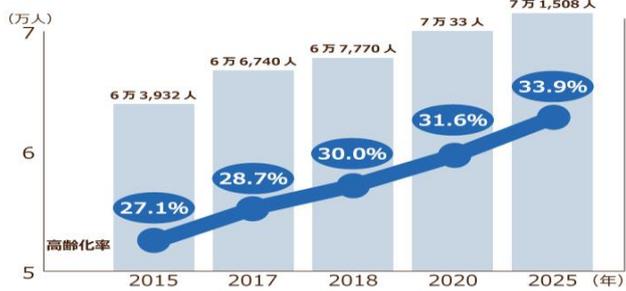
これらの問題点から待機中の店をターゲットにし協同組合、湊日曜朝市市会に協力していただき待機中の出店希望者に機会を提供することとした。待機中の店舗で了承くださった店舗のなかから出店説明会を実施し、多数の場合は抽選で約10店舗を決める。さらに、マチニワ施設内にある大型モニターを使って八戸のPR動画を流し、八戸の魅力を知ってもらいながら買い物を楽しむことができ観光需要に応えることとした。

八戸市中心街を活性化でき館鼻岸壁朝市の問題点も解決できる。マチニワで開催することによって以上のようなメリットが挙げられる。



※八戸観光情報サイト観光Navi

八戸市の高齢者人口



※出典 八戸市

マチニワ市を行うことによって、高齢者を中心に通行量が多くなることが予想される。

マチニワを継続して利用してもらうには高齢者同士がコミュニケーションをとりマチニワの利用イメージを市民の人に理解してもらう必要がある。そこで、八戸市内の高齢者の割合を調べることにした。左の図から八戸市の高齢者の人口は年々増加していることが分かる。

また内閣府が行った「高齢者の健康に関する意識調査 平成29」によると

1位 栄養とバランスのとれた食事をする (59.4%)

2位 健康調査などを定期的に受ける (53.3%)

3位 休養や睡眠を十分にとる (53.0%)

と健康調査が2位挙げられていることが分かる。そのため高齢者の人たちが健康的に過ごすためには、定期的に健康測定を行うことが大切である。マチニワを利用することによりコミュニケーションの場となり、脳の活性化や情報交換ができる。さらに、中心街がより活性化しマチニワを利用する人が増えると考えた。

●アイデア実現のために

- 1、マチニワで健康測定、マチニワ市を行うにあたって、ポスター作成をして広告活動をする。
- 2、健康測定は、血管年齢測定、脳年齢測定を行う。そのために、血管年齢測定器と脳年齢測定器を病院から借りる必要がある。病院に問い合わせをし、協力して下さる看護学校をさがす。(八戸市内の看護学校に協力してもらう)
- 3、館鼻岸壁朝市では現在、約80店舗が出店待ちの状況だ。湊日曜朝市市会と協力の上でその店舗に説明会を開き、マチニワ市に出店していただく。
- 4、中心街の賑わい創出と、中心街の各店舗への波及効果を見据え、市や商店街及び各店舗に協力依頼し広報活動等への協賛を得て事業を実施する。



※イラスト屋 (イラスト)